

KoKoRoの窓

色々な感想
ご意見是非お寄せ
ください。
メールや Fax より
投稿ください。



子育てさぼーと 世界の玩具と絵本の店

＝ 三つ子の魂百まで＝

赤ちゃんは、おなかにいるときからお母さんから色々なことをすり込まれています。そして、三歳になる頃には、脳内神経細胞のおよそ 80 %が完成されると科学的に証明されています。「三つ子の魂百まで」は、やはり本当ですね。これらは全て無意識の中で生きる力として母親から受け継いでいるのです。「天使のほほえみ」これほど素晴らしいものはないですよ。これも赤ちゃんが生きるすべをすり込まれた結果だそうですね。うれしくてというより、お母さんを引きつけるために、微笑んでいるのだそうですね。赤ちゃんの生きる力です。

こう言われると、「胎教のために音楽を聴かせよう」などのように走ってしまうのが現代の特徴でしょう。

みなさんは、何を期待して「子育て」をしていますか？「ヨイトマケの唄」の時代のようにお母さんの背中を見て子どもは育たない時代になっています。子に幸せになってもらいたいという気持ちは、昔も今も同じかも知れません。ですが、「幸せ」という価値観自体も変化しています。有名になること、お金持ちになること、いい会社に入ること、実は、子どもの幸せではなくて、親の夢を子どもに託していることがよく見られます。子どもが大きくなり、一人の力で生きていく。その途中には、つらいことがたくさん

あり、親との別れもあり、そうしたものをひとつひとつ乗り越えて生きていく中で、自分がどう納得した生き方をしていくか。そんなことを考えるときにひとは、自分が幸せかどうか感じとれるものではないかなと思います。だからこそ、みんなと同じでなくてもいいんじゃないでしょうか。



「ボーイズ ビー アンビシャス！」 皆さんよくご存じのクラーク博士の言葉です。でも、このワンフレーズはよく知られていますが、その後続く言葉をご存じでしょうか。

Boys, be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.”

「青年よ大志を抱け。それは金銭や我欲のためではなく、またいわゆる名声 という空しいもののためであってはならない。人間として当然そなえていなければならぬあらゆることを成しとげるために大志をもて」後に続くこの言葉抜きには、誤解されて解釈されてしまいがちです。

ところで、赤ちゃんが泣いています。このとき、だっこしても泣き止みません。寒いけど、おんぶして、外に出てみました。歌を歌いながらそうすると、いつの間にか寝ていました。それまでに、一時間近くかかって。ところが、同じ状況の中でスマートフォンをみせると、瞬時に泣き止みました。さて、あなたは、どちらの方法で、これから赤ちゃんに接していきますか。

この接し方の違いは、子どもの心に大きな違いになって現れてきます。スマホ依存になって、母親からの刷り込みがきちんとできない子どもは、発達上大きな問題を抱えることがあります。私の周りでそのような子どもが増えています。

また、子どもから、「ねえ、ねえ、おとうさん。」とス

マホを操作しているときに無理矢理子どもに割り込まれたときに、「何してんだ！ゲームの途中だったのに！」なんて対応をしている親がいることに、私は本当に不安を禁じ得ません。

＝ 3才までにしっかりとした接し方を＝

特に、今の社会は、非日常が日常になっていることに気づく必要があると思います。40才代前後のお父さんお母さんの子どもの頃は、生まれたときから、まだ、スマホはありませんでした。この15年で、IT関係はすさまじい勢いで、我々の生活の中に入ってきています。もちろん、そのおかげで、様々な分野で、人の命さえ守る重要な役割をも果たしています。しかし不必要なものまでが、生活の中に日常化してしまい、我々はそれに翻弄されたり、無意識に受け入れたりしているのが現状です。少なくとも両親が子ども時代には非日常だったことが、今の子ども達は日常化した社会で活しているわけです。だからこそ、子どもにとっての遊びは、非常に大切なものなのです。それは、また、与えるだけであったり、たくさん与えればいいというものではありません。玩具を通して、人とのコミュニケーションを図り、また、幼少の頃は、玩具そのものが、子どもの心や脳の成長を大きく発展させていくものになります。でも勘違いしてはいけません。脳を成長させることと学習成績を上げることは必ずしも一致するものではありません。玩具は、良質の遊びのために人と交わりながら、心・脳を健全に成長させる道具として必要なものです。そして、心の安定を持って自立していける子どもは、人を評価し、自分も追いつこうと頑張れる子どもになっていくものです。



*次回は、「心の安定と学習」についてお話します。